

検査のワンチェックオーダーについて

①eGFRと②尿蛋白/クレアチニン比のワンチェックオーダーの対応の可否について、帝京大学ちば総合医療センター 寺脇委員より、県内の大手検査会社8社へ調査を実施した。(令和3年8月実施)

調査結果は、以下のとおり。

No.	会社名	対応の可否	回答内容
1	A社	可	推算 GFR (eGFR) creat と総蛋白 (TP) (尿中) をセット化して、オーダーリング画面に掲載する形でよいか。
2	B社	回答なし	対応している状況を確認済
3	C社	可	—
4	D社	可	①②いずれも検査依頼書に掲載しているため、該当箇所にチェックすることで依頼可能。電子連携している場合も同様に、該当コードをオーダーすれば対応可能。
5	E社	可	検査依頼時に1つのチェックで両項目を発生させるということであれば、両項目のセットコード作成を顧客側からE社営業担当へ依頼することで、コードを登録後、コードを依頼書へ記載し、依頼することが可能。電子カルテから依頼の場合は、顧客の電子カルテ内でセット作成、検査依頼が可能。
6	F社	可	①はクレアチニンと eGFR 演算用コード、年齢、性別を同時依頼すると演算して結果を返している。クレアチニンと eGFR 演算用コード2項目をセット化し、年齢と性別を記載すれば依頼を受けられる。(18歳未満は演算不可) ②は尿蛋白定量と尿クレアチニン、クレアチニン補正演算用コードの3項目をセット化し、そこをチェックすることで依頼可能。
7	G社	可	①②検査受託対応可能。※仕様 (検査結果・検体回収・時間指定等) によっては、対応できない場合もあり得る。
8	H社	可	—